

常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎ (35) 7740

寿春

白板地区町会連合会

会長 矢野 良



あけましておめでとうござ
います。

白板地区の皆様には、お健
やかに、希望に満ちた新年を
お迎えになられたこととお慶
び申し上げます。日頃は、白
板地区町会活動に深い御理解
と協力をいただき、心より感
謝申し上げます。

城西町に移転新築された公
民館も3年目を迎えることに
なりました。

地区公民館として、本当に
よく利用されております。

地区を越えた人達の利用も
多く、サークル活動・勉強会・
スポーツ・発表会等に利用さ
れています。

昨年末(12月28日)も、福
島県飯館村より小中学生20名
弱が来館され、地元丸ノ内中
学校の生徒との交流会があり
ました。

白板地区の、丸ノ内スポー
ツクラブと食生活改善推進協
議会の方々の協力をいただき、



ニュースポーツ体験や料理を
一緒に作り昼食を摂り、歓談
され楽しい一時を過ごしまし
た。皆さん、にこやかな顔を
され、お帰りになりました。
より多くの人達の集まれる場
として利用していただけたら
と思います。

そして地域の人達と交流を
深め、白板地区が発展してい
けたらと思います。

今年一年お互いがんばり、
住民同士の親密な関係を作り、
人と人の絆をより強い白板地
区を作りたいと思います。

この年が白板地区の皆様
最高の年となりますように、
心よりお祈り申し上げ、ご挨拶
に代えさせていただきます。



いけ花講座

民生委員・児童委員が決まる

地区民生児童委員協議会

会長 山本 雄二

当地区の民生委員は16名
町会単位に活動しています。
子育て支援から障がい者
高齢者全般にわたり、住民と
行政の「つなぎ役・かけ橋に」
をモットーとしています。

私達は市民感覚を大切に守
秘義務を守ることを心がけて
います。会は和と輪を目指し
大切に楽しい心の温かな地域
づくりを目指しております。
気軽に声をかけて下さい。

民生委員法第 条は次のように定められています。

民生委員は、社会奉仕の精神を
もって、常に住民の立場に立つて
相談に応じ、及び必要な援助を行
い、もって社会福祉の増進に努め
るものとする。

委員名	担当地区
丸山 繁隆	折井町、巴町
澤海 さつき	白板南
永森 愛子	白板中
黒田 順子	白板宮本
永田 順子	白板東
浅田 洋子	宮淵東
中村 宗晴	宮淵日向
小林 佳世子	宮淵新橋、宮淵本村
小丸 美智子	蟻ヶ崎西
花岡 史子	蟻ヶ崎西
吉村 正敬	蟻ヶ崎西
小野 文雄	蟻ヶ崎西
天野 雅代	放光寺
神戸 和代	駒町、宮崎町
山本 光二	城西町
原江	主任児童委員

新春連載

町内公民館長さん達に熱い
思いを語っていただきました

宮崎町公民館
館長 北野 町子

宮崎町公民館は駒町との共有
公民館です。白板地区公民館か
ら徒歩5分、同じ建物の1階に
は、白板地区福祉ひろばという
恵まれた環境にあります。

住みよい街づくりのかけ声の
もと、先人たちが残してくれた
「ひまわり会(高齢者クラブ)」
の活動や、ひろば事業の「ふれ
あい健康教室」に日程を合わせ
て開催する「ふれあい会食会」
を中心に、みんなが集まれる公
民館を目指しております。

他町会同様、参加者の固定、
担い手不足等の課題はあります
が、まずは参加者が仲良く笑っ
て楽しめる場の提供に努めたい
と思います。

巴町公民館
館長 藤澤 文雄

長い間待ち望んでいた巴町公
民館は、平成17年10月1日に竣工
式と完成祝賀会が盛大に行われ
ました。

平成12年に、北松本立体交差が
開通し、その当時と比べれば世帯
数も減少し、現在巴町町会は21世
帯と法人29戸となっております。

町会の行事として春、秋のレク
リエーション、敬老会、新年会、
出前ふれあい健康教室、またふれ
あい会食会として本場山形県の

いも煮をお手本にして町会の皆
様の御協力で楽しく和やかに親
睦を深め活動することが出来ま
した。
現在少子高齢化が進む中、より
一層の絆を深め、助け合い、支え
合いができる町会作りを目指し
ていきたいと思っています。

白板南公民館
館長 武居 良和

私たちの公民館は正統時代に
造られた博物館の様なレンガ造
りの公民館です。平成22年に松
本市災害危険調査を受け、早急
に耐震化工事が必要となり、な
んと東北震災の1ヶ月前に完成
しひと安心。ところが、昨年シ
ロアリ発生！松本市の補助を受
け駆除することができました。

町会の行事は5月の三峯神社
の例祭から始まり、春・秋2回
の女鳥羽川・田川の草刈り。新
しい住宅ができ、子供が増えて
青山様ぼんぼんは存続の危機を
脱しました。秋は敬老会、松本
市のバスを利用した研修会。本
年度は「高山市街と温泉入浴」
裸の付き合いを通して楽しく親
睦を深めました。他に、「ふれ
あい会食会」等の行事がありま
した。

今後、道路拡幅の工事で世帯
数の変化がありますが、住民の
絆を深め助け合って住みよい街
作りをしたいと思っています。

クリスマス会



12月18日(日)午後、白板地区公民館で、丸ノ内スポーツクラブ「クリスマス会」が、参加者55名で開催されました。

日赤奉仕団の井垣さんに、靴下のサンタ作りの指導をうけ、こども達は、思い思いの表情のあるサンタを作っていました。災害時には、これが靴下として使用できます。

毎年のクリスマス会で演奏をしてくれる「やまぼうし」のみなさんとの音楽会のあとは、自分で作ったケーキを食べたり、ストロー吹き矢・輪投げなど5種類のゲームを楽しみ、ゲーム後サンタのプレゼントがありました。

「楽しかった」「また来年くるね」と口々に言って帰っていました。



靴下のサンタ

ケーキ



サンタのプレゼント

やまぼうしの演奏

信州まつもとこどもキャンプ
飯館村小中学生と丸ノ内中学生有志の交流会

東日本大震災による原発事故の影響で避難生活をしている福島県飯館村の小中学生を松本市に招く「信州まつもとこどもキャンプ」が開催されました。(27日から3日間)

12月28日(水)午前、白板地区公民館で、飯館村の小中学生・引率計16名、丸ノ内中学生・丸ノ内スポーツクラブ・食生活改善推進協議会・信大生・市関係者等33名、合計49名で交流会が行われました。

開会式後4班2組に分かれ、フラバールバレー・吹き矢を交代で行いました。吹き矢では「最初難しいと思ったけれど、やって見たら出来て楽しかった」「真ん中にあたって気持ち良かった」等の感想が聞かれました。

次に五平もちづくりを体験しました。飯館村のこども達と丸ノ内中学2年生有志が、仲良く協力し合い、和気あいあいと、五平もちづくりをし、くるみ・ごま・ネギみその3種類のたれをつけて各自3本作っていました。お互いの距離感が縮まり、いい交流となったようです。

五平もち・山賊焼き・きの



昼食

割りばしに
2つさして

ご飯半つぶし



フラバールバレー



はいチーズ



吹き矢

こじで昼食となりました。

「参加してよかった」「おいしかった」「楽しかった」等口々に言って公民館を後にしました。短い時間でしたが、こども達にとって、貴重な体験となったと思います。

特別編
4

国鉄移管・車両基地廃止

白板探検隊

～信濃鉄道と北松本駅～

昭和11年(1936)11月26日に、政府は信濃鉄道の買収を決定し、昭和12年6月1日に信濃鉄道を国鉄に移管することとなりました。

前日の5月31日に、信濃鉄道は従業員を募集させ解散式を行いました。松

本商工会議所は松本市と共同で、6月1日に関係者と来賓300人の参会を得て、北松本駅構内で盛大な祝賀式を行いました。買収された車両は、蒸気機関車3両、電気機関車3両、電車10両、貨車48両でした。「しんてつ」の愛称が消え去りました。

昭和36年10月には、準急「白馬」が昭和46年4月には特急「あずさ」が乗り入れるようになりました。

昭和40年代、踏切の遮断機は自動ではなく人力でした。作業員が、大きなハンドルをぐるぐる回して遮断機の上げ下げをしていました。

昭和50年頃の記憶ですが、駅前には売店があり、駅舎入口右側手前が荷物受付所と、奥側が切符売場だったと思います。また、車両は6両編成で大勢の人が乗り降りしていました。

昭和57年10月31日には貨物の取り扱いが廃止されました。

昭和60年3月14日ダイヤ改正により車両基地も松本運転所に統合され廃止されました。



平成1(1989)年8月 北松本駅舎



昭和56(1981)年3月 荷物車と北松本駅舎



昭和53(1978)年3月17日朝 北松本踏切